NPO 法人シャローム「ひまわりプロジェクト」
趣意書（2024.1.31 改定）

1. 趣　旨

2011 年 3 月に発生した東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故後、13 年が経過し 13 回目の春を迎えます。私たちの「ひまわりプロジェクト」は震災と原発事故への取り組みの中で生まれました。そして、「ひまわりプロジェクト」は、助け合い、支え合うためのネットワークとして、生活の場で実践できるプロジェクトとして今も続いています。

ひまわりの種を福島から送り、全国各地で花を咲かせ、その種は福島へ帰ってきます。災害は、一人一人に大きな傷跡を残し、10 年を経過しそこから立ち直っていく過程もさまざまです。しかし、その中で学んだ「人は一人では生きていけない。助け合い、支え合って生きていかなければ明日はない。」ということが、今につながり忘れてはならない教訓となっています。

助け合いの連鎖は、自然災害が続きコロナ禍が収まらない中で、その重要性を日増しに高まっています。震災から生まれたこの「ひまわりプロジェクト」が、「共生社会」を目指す助け合いのための相互支援ネットワークとして広がっていくことを目指しています。

2. 経　緯

シャロームは、福島市を拠点に障がい者を支援するＮＰＯ法人として活動して参りました。その一つに、障がい者と農家の方々が協力してひまわり栽培を行い、ひまわり油を取る「食用ひまわり」がありました。耕作放棄地の有効利用と高齢化による農家の担い手不足解消、障がい者の自立支援を目的とするものでした。これが 2011 年の原発事故で状況は一変し、放射能による土壌汚染が明らかとなる中で、ひまわり栽培は断念せざるを得ませんでした。

こうした状況下、市民活動を通じて知り合った県外の皆さんとの交流の中で「来年からは私たちがひまわりを栽培し、取れた種をひまわり油の原料として送り返しましょう」との提案を頂き、私たちはこれを新しい障がい者支援のための授産事業と位置づけ、また、福島と福島を支援して下さる全国の皆さんを繋ぐ絆として「ひまわりプロジェクト」に取り組んでいくことと致しました。

3. 内　容

ひまわり栽培に協力して頂ける方を全国から募り、シャロームから食用ひまわりの種をお送りします。この種を庭や花壇、畑などで栽培し、花を楽しんだ後で種を採取、乾燥させた種をシャロームへ送り返して頂きます。帰ってきた種は、圧搾絞りという伝統的な方法でひまわり油「みんなの手」となり、障がい者施設の製品となります。売上は障がい者の工賃に還元され、「ひまわりプロジェクト」を支える財源として活用されています。施設が運営するブログ等で栽培の様子や栽培情報を伝え、ネットワークの充実に努めています。

NPO 法人シャローム「ひまわりプロジェクト」実行委員会
〒960-8141 福島県福島市渡利字鳥谷下 67-1（ベーシック憩内）担当：野内・宍戸・杉山
TEL:070-5474-4166 FAX:024-529-6902
Mail:info@nposhalom.net HP: https://www.nposhalom.net/himawariproject/